

戦い続ける

ヒーローたち



町のヒーロー「ハナレンジャー」は、宮代町商工会青年部の皆さんが中心となって活動をしています。

今回は働きながら、町を笑顔にするために活動しているハナレンジャーの歴史とみなさんの思いを紹介します。

■プロ顔負けのハナレンジャーショー

町民まつり2日目、進修館大ホールの舞台が始まります。ハナレンジャーショーの開幕です。幕が上がり登場したのはザッソー軍団。悪の帝国を開こうと、客席に降りてきて子どもたちに襲いかかります。そこに登場するのが正義の味方ハナレンジャー。宮代町をハナのある町にするため日々戦っている5人組のヒーローです。子どもたちも、親たちも舞台に引き込まれていきます。

このショーを演じているのは、宮代町商工会青年部の皆さんです。毎年新たなキャラクターが加わるなど、クオリティーをあげながら子どもたちに笑顔を届けています。

■手作りから始まったご当地ヒーロー

始まりは18年前、彼らは商工会の宴席を盛り上げるための「エンカイダー」でした。

ある時、市販のレンジャースーツを着て幼稚園へ行くと、思いがけず大人気に。青年部に入ったばかりだった松村さんは「もっと本気でやってみよう」と強く思ったそうです。「この町を、賑やかで華(ハナ)のある場所にしたい」という願いを込めて「ハナレンジャー」と名前を変え、平成20年にみやしろ産業祭でデビューしました。

本業が終わった後、商工会館に集合。メンバーが作ったデザイン画をもとに、毎日夜遅くまで衣装やマスクを作りました。

メンバーはプロの劇団員ではありません。それでも、仕事の合間をぬって本気で町の発展を考え、動き続けてきました。「うまいか下手かじゃない。自分たちの手でやることが、何より大事」と語る松村さんの言葉どおり、町を盛り上げようという思いが、ハナレンジャーの始まりです。

活動を続けていくうちに、テレビ出演や町内の保育園や幼稚園、介護施設からの依頼も増えていきました。

■消滅危機からの復活

青年部自体のメンバーも減り、3人で活動をする時期もありました。メンバーがそろわない中でもハナレンジャーを続けようと、春日部の劇団に出演を依頼したことも。「そこまでして続ける意味があるのか」と言われることもありましたが、「劇団の監督も協力してくれて、ショーのレベルがぐんと上がった」と松村さんは当時を振り返ります。

今年からリーダーを務める西さんも、3人で活動していた時の1人です。「一度ハナレンジャーになって声援をあげると、もう一度やってみたいという気持ちが強くなる。経験者だけが分かる感覚がある」と話します。コロナ禍で思うように活動が



松村さんは青年部卒業後もOBとして出演。立ち上げから卒業までの16年間、ハナレンジャー事業の中心として、悪役や台本作成などに尽力してきました。

本格的なショーを支えているのが、事前に録音した声に合わせてアクションするというプロ顔負けの方法。12年間にわたりリーダーを務めた吉岡さん(左)から西さん(右)がしっかり引き継ぎました。

舞台後の記念撮影には長い列ができます。子どもから大人まで、彼らの人気の高さがうかがえます。



登場人物紹介



できなかった時期もありましたが、西さんは自分が味わった体験を他のメンバーにも知ってほしいと、声をかけ続けました。今では青年部員も含めて多くの若手メンバーが舞台を支えています。

今年青年部長の後藤さんも、4年前に西さんから声をかけられてハナレンジャーを始めた1人です。「子どもの頃に憧れた戦隊モノを、信頼できる先輩が演じている姿を見て自分もやってみたくなった」と照れくさそうに話します。

■この先も続くレンジャーを目指して

この日の進修館大ホールは満席。ずっとやりたかったグッズ販売也大盛況でした。彼らを動かす原動力は先代のメンバーから受け継がれてきた「子どもたちを笑顔にしたい」という強い思いと「宮代愛」です。

舞台の最後には、ザッソー軍団にやられそうになったハナレンジャーが、会場のみんなの声援をうけて悪者たちを退治します。苦しい時に助けてくれたのは、みんなの大きな声援だったのですね。

18年の歴史を経て、先輩から後輩へと受け継がれてきたハナレンジャー。「宮代町の子どもたちを笑顔にしたい」という思いが、商工会青年部の結束力の源になっています。



レンジャーが舞台に上がると会場内からは大きな声援があがります。今回のために2～3ヶ月前から8回集まり練習を重ねてきました。



満員の大会場。ショーが始まってからも、中の盛り上がりによって会場内に観客が集まってきました。



「みんな本業があるけれど、楽しいから参加してくれている」とリーダーの西さん(左)と第25代部長の後藤さん(右)。

グッズ販売や会場整理、集客など出演メンバー以外の支えがあります。ここ2、3年は杉戸町商工会の青年部とも相互協力でお互いの事業を支えています。今年は演者として3人が手伝ってくれました。

